



七松小学校 学校だより

令和7年度

1月号

尼崎市立七松小学校

校長 高島 洋

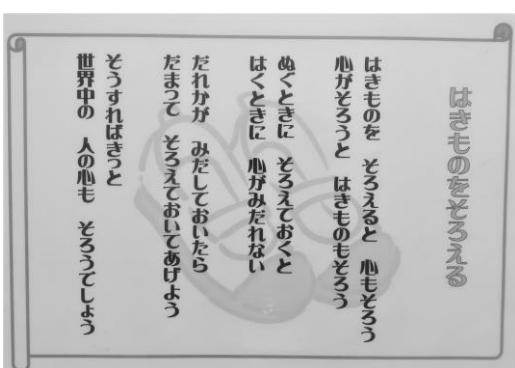
☆ ホームページアドレス <https://www.amanet.ed.jp/school/E31/>

あけましておめでとうございます

保護者や地域の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、本校教育に多大なご支援を賜り心より感謝申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。冬休みを終えて、子どもたちの元気な声が学校に響いています。今年度もあと、3か月です。元気に学校生活を送ってほしいと思います。

正月はご存知の通り、日本の伝統行事です。新しい1年の出発点であり、日本人にとって特別な意味がある行事です。「年取り」はその一つだと思います。新しい年になると年神(としがみ)さまが年魂(としだま)を授けに来ます。授かるとみんな1歳、年を取ります。数え年の考えです。数え年はあまり使われていませんが、年魂の代わりの「お年玉」はよく使われます。年神さまは年魂だけではなく、「運気」も授けてくれるそうです。旧年中の良いことも悪いことも年末で一旦リセットされて、新しい良い運気を年神さまが授けてくれます。きっとみなさんにも新しい良い運気が授けられていることだと思います。

さて、学校も新年を迎え、新しく良くなるための工事が着実に進んでいます。外壁補修も終わりが見えてきました。年末より新しく校舎の東側トイレの工事が始まっています。工事中は西側のトイレしか使えませんが、新しくなるのは楽しみです。本校のトイレですが、上履きからスリッパに履き替えて使用します。そのスリッパについてある張り紙がトイレ前に掲示されています。教頭先生が以前に各トイレ前に掲示してくれたそうです。



この「はきものをそろえる」は、長野県の円福寺住職の藤本幸邦さんの詩です。はきものをそろえるのは自分ですが、それは他の誰かのためになります。自分勝手ではなく、誰かのために行動すること、それが世界中に広がれば素敵です。トイレには神様がいると言われますが、きっと神様も見てくれているはずです。はきものをそろえるという何てことないことが、当たり前にでき、他の人のために自ら行動できる七松小学校でありたいと思います。

今年も子どもたちのため、教職員一同、精一杯がんばりますので、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。